

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル TACとの事業間連携による事業推進

JA名 はぐくみ (群馬県)

1 動機 (経緯)	TACによる訪問体制を構築する前は、組合員の方々との接点は、主に営農センターや店舗への来店時などに限られていました。しかし、多様化する組合員のニーズに応えるためには、組合員の自宅へ訪問する体制が必要との認識のもと、あらためて態勢を整備し出向く活動を開始しました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ■要員体制：本店1名、西部営農センター1名、東部営農センター2名の計4名 ■訪問先：地域農業の中核となる農業者を中心に訪問 ■活動内容：各担当が定期訪問先を中心に訪問活動を実施。資材や農薬関係業者と同行訪問することもあります。 ■活動管理：月例会議を開き月中の活動結果を報告。組合員の意見や要望等の情報を共有。速やかな回答・解決につなげます。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問の際に、実際に圃場を見ることで、作物状態を把握し、病気の発生を未然に防止し、発生してしまった場合でも早期に発見・対応することができました。 ○農薬や資材の活用を提案し、作物の生産性を向上、既存品目の拡大、新規品目の導入を促進しました。 ○TACが組合員から資金の相談等を受けた場合には、金融部門へ情報をつなぎ連携して組合員の資金ニーズに対応しました。 <p style="margin-left: 20px;">具体的には、定期巡回先の梅農家からの農機具倉庫の建設資金（260万円）への融資対応や、平成26年2月の豪雪災害時の組合員からの融資の延長や据置の相談対応などを行いました。</p>
4 今後の 予定(課題)	今後も、組合員へ積極的に出向く活動を継続し、組合員の言葉に耳を傾け、信頼関係の構築に取り組みます。

【TAC事業推進体制】

